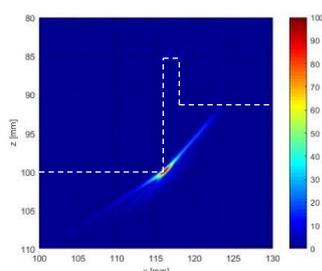


「FMC/TFM の基礎②」

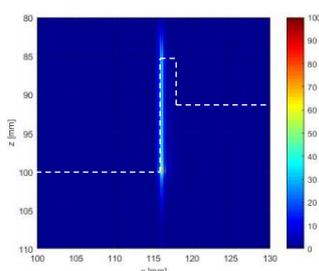
FMC/TFM（フルマトリクスキャプチャー/トータルフォーカンシングメソッド）はアレイプローブを用いた位相整合技術による超音波探傷技術の総称ですが、ここでは TFM について具体例を含めて説明します。アプリケーションノート TFM-002 と TFM-004 では TFM のアルゴリズムと伝搬モードについて解説しましたが、ここでは STB-A1 試験片による探傷結果を示します。フェーズドアレイ超音波では T-T モードのみの探傷結果になりますが、TFM では幾何形状を考慮した伝搬反射モードでの探傷結果を取得できます。TFM は FMC で取得された波形データから、音速及び伝搬モードを自由に変更して詳細な解析を行うことができる技術です。



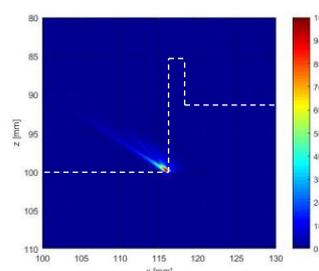
板厚 100mm 方向にある、高さ 15mm、幅 2mm のスリット



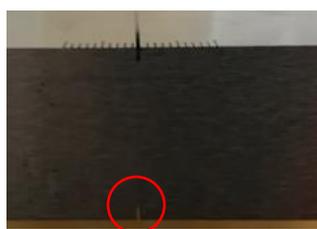
T-T



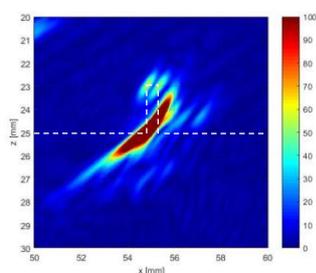
T-TT



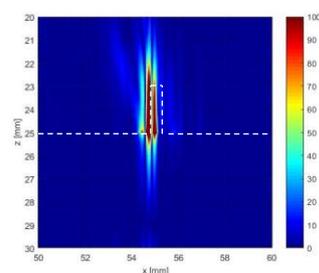
T-TTT



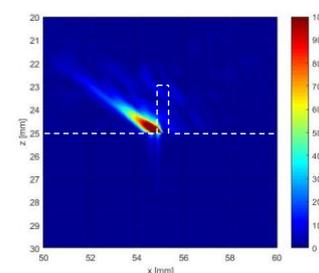
板厚 25mm 方向にある、高さ 2mm、幅 0.5mm のスリット



T-T



T-TT



T-TTT

より詳細な情報は、弊社 info@db-kk.com までお問い合わせください。
技術検討及び評価試験のご相談もお受けいたします。